

会員の皆様へ

関西本部事務局長 小杉豊和

皆さま新年おめでとうございます。さて新年そうそうに肖像権というハードルをテーマにお話したいと思います。

近年肖像権に対する認識や考え方が増幅していく中、「人を撮る」という行為に関して萎縮するカメラマンが増えています。私自身はアメリカの大学在学中に地元の新聞社でインターンをしたことや、その後にAP通信社・ニューヨーク本社、ワシントン支社での経験から肖像権に対して厳しい姿勢を取ってきました。

私の肖像権体験ではむやみに人を撮る行為はNGだということです。実際にアメリカの新聞社では撮る場合は必ずその前後で許可をもらい、合わせて連絡先を聞く。そして新聞掲載の許可をもらうといった感じでした。もちろんこの手順は手間がかかり面倒であることには違いありません。しかしながら一方で自分自身や新聞社自身が守られることにも繋がりました。

さて話しを昨今の日本に戻すと、人によっては肖像権という権利を悪用し「勝手に撮られてどうしてくれるんだ！補償しろ！」という輩まで出てきています。

まず皆さんにお願いしたいのは人を撮ることに臆することなく「撮っても良いですか？」と一声かける、ついでに写真を見せながら「もし良ければ差し支えのないメルアドを教えてください」などと相手とのコミュニケーションを計ることが大切です。名刺を作って素性を明かした上で安心してもらうことも大切ですね。ただし先ほどお伝えした「輩」タイプにはお気を付け下さい。最初からきつい視線を送ってきたり、その手のオーラを出していますので。

<フォトセミナー ご報告>

今年度も、講師に写真家 山本 学先生をお招きし、以下の日程で実施しました。予定定員を超える23名の参加がありました。

第1日目：11月25日（月）

午前：講評と添削

（各自自由撮影の作品3点）

午後：撮影実習

（服部緑地都市緑化植物園）

第2日目：12月16日（月）

午前：講評と添削

（服部緑地撮影作品3点）

午後：撮影実習

（通天閣周辺撮影作品3点）

第3日目：12月23日（月）

午前：講評と添削

（通天閣周辺撮影の作品3点）

午後：解説（講師撮影の作品を下に）

- ・光と陰の捉え方、活かし方
- ・適正露出と補正、構図、シャッター速度
- ・その他

山本先生の熱意ある指導や適切な講評は毎回参加者から好評を得ております。

撮影実習では、参加者と一緒に歩きながら、被写体を見つける視点やご自分のカメラモニターを見せてセッティング内容等の説明をされていました。

また、次の回の講評と添削では、撮影実習で各自が撮影した作品3点を講評し、改善点があればそれを指摘し、ソフトを使って実際に添削されました。それが適切で、作者を大いに納得させるものであり大変有意義でした。

3日間共好天に恵まれ、参加者は先生の指導を聞き漏らすまいと熱心に耳を傾け、シャッターを押していました。



(講評会)



(撮影実習)

チン電コンテスト 審査結果

<総評>

このたび入賞・入選された皆様、おめでとうございます。

今回のコンテストのテーマは、路面電車(ちん電)、下町情緒豊かな町並みを写そう。

と言うことでした。応募作品を見てみますと、電車を撮った作品が多く見られました。

こちらの方が撮りやすかったのでしょうか。しかし、同じような作品が多く、審査員委員は、「ひと味違った作品はないか」と選ぶのに苦労しました。選ばれた作品と、惜しくも選外になった作品との違いは、「表現力」の差にあると思います。

その場に何回も訪れて、また、行く度に新たな出会いもあり、違った発見もあり、中には偶然もあり、そこで何を表現したいのかを見つけ作品作りをされたと思います。この事

は大事だと思いますし、今回に限らず、祭り、行事や、風景写真にも共通することだと思います。

関西本部委員 鍋釜一詩

審査委員 鍋釜一詩 (委員長)

広瀬裕子 横山周作 鈴木一彦

推薦「目映い(まばゆい)」山本弘美
(守口市)

特選「家路」和田 修 (奈良市)
「市民の足」都倉保信 (吹田市)

準特選「ノスタルジックな街」藤田緑郎
(東大阪市)

「安全確認」森山登志子 (高槻市)

「駅」井藤伸一 (八尾市)

入選「ちん電の走る街」斉藤 貴 (大阪市)

「線路交差」長谷川純一 (大阪市) 「古い町」
古地幸男 (大阪市) 「百年電車」荒川惣平 (吹
田市) 「鳥居前のにぎわい」山内克彦 (三島郡
島本町) 「祭りの日」小出由美 (那覇市)

「目映い(まばゆい)」山本弘美



「ノスタルジックな街」藤田緑郎



春の撮影会

「上方落語の聖地！天王寺界隈を撮ろう」

◇撮影会◇

日 時：4月20日(日) 雨天決行
場 所：天王寺界隈
集合場所：大阪市立天王寺美術館広場前
午前10時集合
参加費：無料
*受付時にコンテスト応募『郵便振込票』をお渡しします。

◇コンテスト◇

応募締切日：5月15日(木) 消印有効
応募資格：撮影会に参加し
当日撮影した写真
応募サイズ：A4単/組写真
*組写真についてはチラシ応募要項を参照
応募料：会員1,000円
一般2,000円
作品返却料：希望の方のみ、
応募料にプラス1,000円
応募先：〒530-0005
大阪市北区中之島2-3-18
全日本写真連盟大阪府本部「春の撮影会」係
*詳細はチラシまたは大阪府本部ホームページをご覧ください。
*撮影会中止の場合はHPに掲載します。ご覧の上お出かけください。

<2025年度事業計画>

○春の撮影会

日時：4月20日(日)

○支部長交流会

日時：6月中(土)、講演/交流会

○フォトセミナー

日時：6月、
講師：山本学(写真家)

○第1回近畿写真サロン(フォトコンテスト)

応募締切り：7月中旬、
応募サイズ：A4単写真のみ

○講演会

日時：8月
内容：作品の作り方
講師：全日写連総本部委員

○第2回 enjoy80 コンテスト

応募締切り：9月中旬
応募資格：80歳以上、
応募サイズ：A4単写真のみ

○秋の撮影会

日 時：10月12日(日)、
場 所：秋郷祭/枚岡神社
応募締切り：11月中旬
応募サイズ：A4単/組写真

○冬の撮影会(バス撮影会)

日 時：1月、
場 所：白崎海岸/雑賀崎
応募締切り：2月中旬
応募サイズ：A4単/組写真

○その他(プチ撮影会)

少人数での「祭りの撮影会」を予定(HPでお知らせします)。

読者の広場

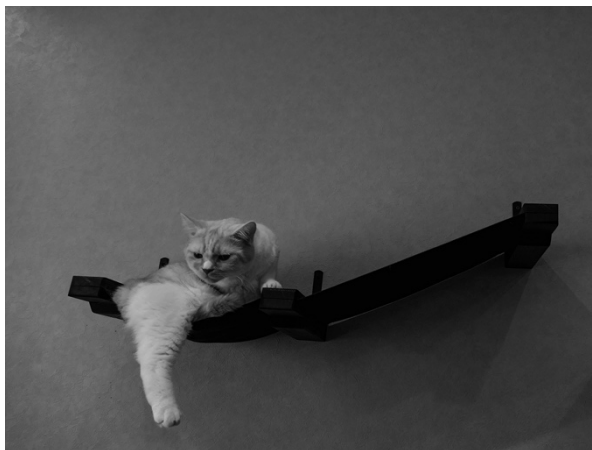
<第2回アマテラス写真展>



【東住吉フォトガンバ支部
「おばあちゃんに付度」山本征也】
子どもたちのほうが記憶力も確かなのか

次々取り始めたが、ニコニコ笑っているおばあちゃんの前のかるたには殺気だった子どもたちの手が思わず止まった。その様子がおかしくてカメラを出した。

<第2回アマテラス写真展>



【朝日フォト2003 写創支部「猫」三島伸夫】

撮影場所は八尾市内の猫喫茶です。猫がのんびりと安心した至福のひとつの様子を撮影できたと思います

<第2回アマテラス写真展>



【フォトフレンズ支部「sexy girl」中原みさえ】

この写真は、夏の夕暮れ時に、大阪駅構内で撮った写真です。ジョンレノンさん愛用の眼鏡に似ていたのが、印象的でしたので、お声掛けして1枚撮らせて戴きました。有難うございました。

<第30回守口支部写真展>



【守口支部「信州田植えの頃」坂根千歳】

「長野県大町町白馬村」
背景の雪山は、北アルプス 春が来ても残雪がまぶしい。ふもとの棚田では田植えの頃を迎えている。

写真展のご案内

第19回写団清朋作品展
(アール梅田、富田林支部、
船出写真倶楽部)
4月15日(火)～4月19日(土)
大阪駅前第2ビル5F ギャラリーB

大阪写友会展
5月8日(木)～5月13日(火)
心齋橋ピルゼンギャラリー3F

〒530-0005 大阪市北区中之島 2-3-18
全日本写真連盟大阪府本部

Tel:06-6201-8006 Fax:06-6201-0285
メール: nissyaren@osaka.email.ne.jp

全日本写真連盟大阪府本部ホームページ

